

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	環境に優しいまちの形成
基本方針	環境への責任を果たすまち
基本施策名	水環境の保全活用

	所属	職名	氏名
作成者	経営管理課	課長	高嶋 雅俊
評価者	上下水道部	部長	金井 恒人

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	水道事業については、新たな「水道ビジョン」、下水道事業については、「経営戦略」を策定し、平成29年度から10年間の将来の各事業の方向性を示している。 今後は、これに沿って事業を行うとともに各計画の進捗状況の管理を検証を行いつつ、より市民生活の快適性を追求していく。
基本方針 (目指すべき方向性)	地下水保全や水資源の有効利用に努め、良質で安全な水道水の安定供給を継続するとともに、公共下水道事業などの整備を進め、公共用水域の水質浄化と生活環境の向上を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
上水道給水普及率	%	99	99.3		99	99	99.7	順調	上水道課
上水道有収率	%	78.4	90		77.9	79.6	87.6	順調	上水道課
公共下水道整備率	%	81.8	90		83.6	83.7	93	順調	下水道課
公共下水道水洗化率	%	90.4	94		80.6	81.9	86.7	順調	下水道課

施策指標の進捗状況と分析	事業を推進するに当たり、経営の安定化を図る必要があることから、一般会計から水道事業については負担金、下水道事業については、繰出金をそれぞれ算定に基づいて負担してもらっている。 指標となっている給水普及率、水道有収率、下水道整備率、水洗化率については、概ね目標に沿って向上している。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化		
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	
1	0104420	水道事業負担金	庶務担当（上下水）			59,361,152	59,362,000			118,723,152	定型業務	継続	H34以降	現状維持	
2	0108550	下水道事業繰出金	庶務担当（上下水）			2,273,284,712	2,222,900,000			4,496,184,712	義務業務	継続	期限なし	現状維持	
合計						2,332,645,864	2,282,262,000			4,614,907,864					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	公営企業として、水道料金、下水道使用料収入を基本として事業を進めることになるが、今後は人口減少に伴い、収入が減少していく予測となることから、より効率的な事業経営を行う必要がある。 また、受益者負担の公平性の面から収納率の向上に努める必要がある。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	水道事業については、市民生活を支える必要不可欠なものであり、継続するほか選択肢は無い。 下水道事業については、市民生活の快適性の維持から、継続していく必要があり、縮減等は考えられない。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	公共下水道、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業の存否等の検討を行い、経営の効率化、経営の持続性の観点から事業の統廃合を考える必要がある。